

「21世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」 エコモデル住宅について

高山市は、環境省が実施する「21世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」の全国20地域の1つとして選定を受け（5月11日環境省発表）、環境共生型のモデル住宅（エコモデル住宅）を建設し、その建設促進を図ります。

1. 環境省の事業概要及び目的

家庭部門からの二酸化炭素を中長期的に削減するため、建設、居住、改修、建替えのライフサイクルに渡って環境負荷が少なく、かつ快適な暮らしを実現する環境共生型住宅（エコハウス）を普及していくことが期待されています。

その一方で、需要側である国民、供給側の建築設計事務所・工務店等において、エコハウスに対する知識、それぞれの地域や建設地の環境を生かす設計・技術等が十分共有され、また浸透しているとは言い難い現状にあります。

これらの課題に対応するため、ライフサイクル全体で環境負荷の低減が可能な住宅設計手法を活用したモデルハウスを全国20箇所整備し、これを活用した住宅環境対策に関する普及活動を各地域において展開する当該事業を実施します。

これらにより、現在の不動産不景気の直撃を受けている地域の工務店や造園施行者に対し、緊急の需要創出を図るだけでなく、地域の工務店や造園施工者のエコハウスに対する知識や技術を高め、これを共有することにより、地域のエコハウス普及体制を強化していきます。また、住民にエコハウスのメリット等を直接体験してもらいエコハウスの需要を創出していきます。

2. 補助事業の内容

(1) 補助対象

エコハウス設計手法を活用した21世紀環境共生型モデル住宅の整備事業、及び同モデル住宅を活用した住宅環境対策に関する普及活動事業

(2) 補助率

10/10

(3) 補助額

上限1億円を基本とする。

3. 高山市が選定を受けたモデルハウスの申請概要

(高山市の特徴)

- ① 歴史と伝統を持つ日本有数の国際観光都市
- ② 平成の大合併で誕生した日本一の森林都市
- ③ 内陸山岳地の寒冷多雪な気候と豊かな自然環境、
- ④ 古くから盛んな建築・木工と受け継がれる飛騨匠の技

(エコモデル住宅の整備等構想)

【基本コンセプト】～飛騨高山オリジナルの魅力ある木造エコ住宅～

- 【3つの視点】
- ①豊かな自然環境を活用した低炭素循環型住宅
 - ②寒冷多雪地に対応した安全・快適な住環境
 - ③伝統文化・技術の活用・伝承

(新しい技術・アイデア等について様々な取組を提案)

●校倉風角ログ耐震・断熱壁、●寝室部の木製省エネ耐震シェルター、●木質バイオマスエネルギーの有効活用、●スギの圧縮フローリング、●寒冷多雪地域での太陽光発電の活用検討、●コンポスト等による再資源化など15の取組を提案

(モデル住宅規模等) 木造2階建て(延べ床面積200m²:約60坪)